

7 京医大第6号  
令和7年1月10日

関係大学長様  
関係研究機関等の長様

京都府立医科大学長  
夜久均  
(公印省略)

生命基礎数理学（数学教室）教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学大学院医学研究科生命基礎数理学（医学部医学科数学教室）教授を下記の要領で公募、選考することとなりました。

この度公募する生命基礎数理学教授には、数学に深い造詣と見識を持ち、医学への応用を見据えた共同研究を行う強い意思と数理モデル、情報数学、人工知能などの領域においてすぐれた研究実績を有し、諸科学と協力して医学や医療の発展に貢献できる学生の選抜や育成教育等、大学運営業務に責任を担える人材を求めます。

なお、現在本学は、大学院改革や国際化など我が国が直面する課題に真摯に取り組んでいることを申し添えます。

つきましては、ご多用中恐縮に存じますが、貴施設におきまして適任者がおられましたら、下記により令和7年2月21日（金曜日・午後5時必着）までにご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

- (1) 履歴書 1部（別紙様式1）
- (2) 業績目録 1部（別紙様式2）
- (3) 業績目録に記載された代表的な論文20編の要旨・意義・被引用回数(Scopus) 各200字程度
- (4) 論文別刷（業績目録に記載された代表的な論文20編、および過去10年間の筆頭著者と責任著者論文）のPDF（ファイル名を「代表論文、業績目録上の論文番号」、「筆頭著者論文、業績目録上の論文番号」、「責任著者論文、業績目録上の論文番号」、「代表・筆頭・責任著者論文、業績目録上の論文番号」等としてください）（紙媒体は不要）
- (5) 教育実績・研究助成・英文原著リスト 各1部（別紙様式3）
- (6) 「研究における過去の経歴及び将来の抱負」 2000字程度
- (7) 「教育における過去の経歴及び将来の抱負」 2000字程度
- (8) 推薦書（所属長、指導教授などの2名） 各1部
- (9) (1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)及び(7)については、下記規定に従って記録したUSBフラッシュメモリーも添付してください。

※ (1)履歴書、(2)業績目録、(5)教育実績・研究助成・英文原著リストの様式は、本学ホームページでご確認ください。( <https://www.kpu-m.ac.jp/doc/news/2025/20250110.html> )

問い合わせ先：〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465  
京都府立医科大学総務課総務係 電話 075-251-5210  
e-mail: [soumu02@koto.kpu-m.ac.jp](mailto:soumu02@koto.kpu-m.ac.jp)

[規 定]

紙サイズ A4 サイズ

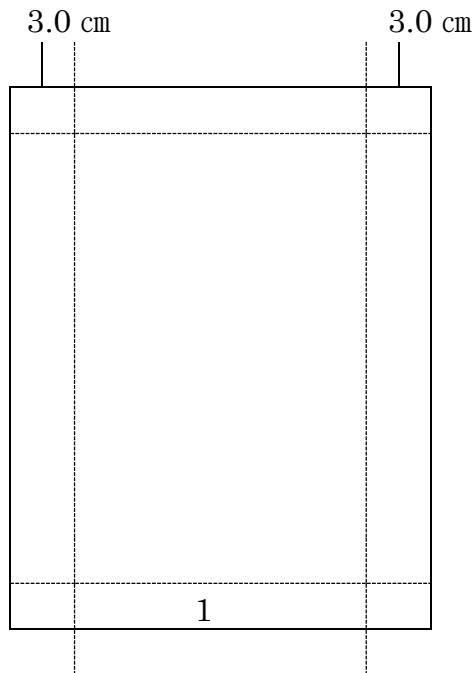
ソフトは Microsoft Word (Windows, Mac 共に可)

文字のフォントは明朝体、12 ポイント、数字及び英語は半角

行間はシングルスペース、1 行あたり文字数 35 字、33 行

上下、左右共にスペースは 3.0 cm

項目 (1), (2), (3), (6) 及び(7)ごとに頁番号をつける (下部中央印字)



なお、ご提出していただいた書類等の個人情報につきましては、本学大学院医学研究科生命基礎数理学教授選考の目的以外には使用しません。本学内の教授会等で公開されることをご承知おき下さい。

提出先 〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町4 6 5  
京都府立医科大学長 宛

※応募者の連絡先（電話と E メールアドレス）を履歴書とは別にご提出下さい。

※封筒に「生命基礎数理学教授応募書類在中」と朱書きして書留でご送付ください。

(その他) 選考の過程で面接及びセミナーにお越しいただくことがあります。

別紙様式 1

履 歴 書

医 大 太 郎

昭和（または西暦）〇年〇月〇日生（〇歳）

現住所 〇〇県△△市

平成〇〇年(19xx 年) 3 月 31 日 〇〇大学△学部卒業  
平成〇〇年(19xx 年) 4 月 1 日 〇〇大学大学院△学研究科博士課程入学  
平成〇〇年(19xx 年) 3 月 23 日 △学博士（〇〇大学 第〇〇号）  
平成〇〇年(19xx 年) 3 月 31 日 〇〇大学大学院△学研究科博士課程修了  
平成〇〇年(19xx 年) 4 月 1 日 〇〇大学△学部助手、〇〇学教室勤務  
平成〇〇年(19xx 年) 9 月 1 日 〇〇大学△学部講師、〇〇学教室勤務  
平成〇〇年(19xx 年) 4 月 1 日 アメリカ合衆国〇〇大学へ留学  
(〇〇大学△学部〇〇科 Post-doc fellow)  
平成〇〇年(20xx 年) 8 月 31 日 帰国  
平成〇〇年(20xx 年) 9 月 1 日 〇〇大学△学部准教授、〇〇学教室勤務  
現在に至る

平成〇〇年(19xx 年)4 月 1 日 ～ 平成〇〇年 3 月 31 日〇〇大学非常勤講師  
令和〇〇年(20xx 年)4 月 1 日 ～ 令和〇〇年 3 月 31 日〇〇大学客員講師

所属学会等

日本〇〇学会会員

日本〇〇学会会員

American association of xxxxx-ology, regular member

学会役員等

日本〇〇学会理事

日本〇〇学会評議員

資格等

高校〇〇教員免許

学術活動・社会貢献等

〇〇誌の編集委員

知的財産（これまでに申請した特許等）目録

1. 発明等の名称；新規な xxxxx・およびその用途

出願番号：特願 20xx-xxxxxxx ; 20xx 年〇月

発明者：〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

2. 発明等の名称：〇〇病発症またはリスクの〇〇的検出方法

出願番号：特願 20xx-xxxxxxx・PCT/JPxx/xxxxx ; 20xx 年〇月

登録番号：特許 20xx-xxxxxxx ; 20xx 年〇月

発明者：〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

大学など機関内の委員会、小委員会、審査会等への貢献実績

1. 〇〇大学〇学部教育委員会委員 20xx～20xx 年度

2. 〇〇大学入学試験出題委員会委員 20xx～20xx 年度

賞罰

20xx 年 日本〇〇学会奨励賞

教育実績（英語で行われた講義は講義名に（英語）と記載してください）

学部

担当講義（2018年度以降）

- 1 ○○学、20xx～20xx年度
- 2 ○○学、20xx～20xx年度

担当実習（2018年度以降）

- 1 ○○学実習、20xx～20xx年度

公的試験（CBT、OSCE、医師国家試験など）

- 1 ○○大学○学部 CBT 委員、20xx～20xx年度
- 2 ○○大学医学部医師国家試験委員、20xx～20xx年度

大学院

担当講義（2018年度以降）

- 1 ○○学、20xx～20xx年度
- 2 ○○学、20xx～20xx年度
- 3 xxxxx Biology（英語）、20xx～20xx年度

修士（博士前期課程）の学位指導論文数

○名

博士（博士後期課程）の学位指導論文数

○名

研究助成（これまでに受けた文部科学省科学研究費，厚生労働省科学研究費，日本医療研究開発機構(AMED)などの助成金額等について直接経費の総額を記入してください。分担研究につきましては、本人への助成金額を記入してください。）

#### 公的助成

##### 代表

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（A） 20xx～20xx 年度  
○○○○○○○の研究 助成金額 ○○千円
- 2 厚生労働省科学研究費補助金○○○○○事業 20xx～20xx 年度  
○○○○○○○の研究 助成金額 ○○千円
- 3 日本医療研究開発機構(AMED) ○○○○○事業 20xx～20xx 年度  
○○○○○○○の研究 助成金額 ○○千円

##### 分担

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（A） 19xx～20xx 年度  
○○○○○○○の研究（代表者 ○○） 助成金額 ○○千円
  - 2 厚生労働省科学研究費補助金○○○○○事業 20xx～20xx 年度  
○○○○○○○の研究（代表者 ○○） 助成金額 ○○千円
  - 3 日本医療研究開発機構(AMED) ○○○○○事業 20xx～20xx 年度  
○○○○○○○の研究（代表者 ○○） 助成金額 ○○千円
- ※ 分担研究につきましては、本人への助成金額を記入してください。

#### 財団等からの助成

##### 代表

- 1 ○○○○財団○○○○助成 20xx～20xx 年度  
○○○○○○○の研究 助成金額 ○○千円
- 2 ○○○○財団○○○○助成 20xx～20xx 年度  
○○○○○○○の研究 助成金額 ○○千円

##### 分担

- 1 ○○○○財団○○○○助成 20xx～20xx 年度  
○○○○○○○の研究（代表者 ○○） 助成金額 ○○千円
- 2 ○○○○財団○○○○助成 20xx～20xx 年度  
○○○○○○○の研究（代表者 ○○） 助成金額 ○○千円

別紙様式 2

業 績 目 録

いだい たろう  
医大 太郎

(A-a) 英文著書

\*個人著書の場合

- 1 Idai T. Means to and end: apoptosis and other cell death mechanisms. ○○○○○ (注 出版社名), New York (注 出版社の所在都市名) : pp1-220, 2011.

\*分担執筆の場合

- 2 Kyoto H, Idai T. Cancer chemotherapy, immunotherapy & biotherapy, 6th ed. In: Idai J, Kyoto A, editors. ○○○○○ (注 出版社名), Philadelphia (注 出版社の所在都市名) : pp457-466, 2019.

(A-b) 和文著書

\*個人著書の場合

- 1 医大太郎. なぜベイズを使わないのか!?! ○○堂, 京都: pp1-262, 2017.

\*分担執筆の場合

- 2 京都花子, 医大太郎. 次世代シーケンサーによる造血器腫瘍解析. 造血器腫瘍アトラス改訂第 5 版. 医大二郎 編. 日本○○社, 東京 : pp95-102, 2016.

(B-a) 英文総説

- 1 Idai T., Kyoto M. Genomic imprinting disorders: lessons on how genome, epigenome and environment interact. Nat Rev Genet (注 PubMed の略名法による) 20: 235-248, 2019. (IF=41.5)

(B-b) 和文総説

- 1 医大太郎. ゲノム医療時代の病理医の役割. ○○医学 26:39-45, 2019.

(C-a) 英文原著

- 1 Idai T, Kamigyo J, Kyoto H, Kawaramachi A, Kamogawa R, Shimogamo H. Glycolytic switch is required for transdifferentiation to endothelial lineage. *Circulation* 139: 243-255, 2019. (IF=18.9)

(C-b) 和文原著

- 1 医大太郎, 京都花子, 上京二郎. 水球選手のメンタルタフネスを評価する有効な質問項目の検討. ○○医 (注 医学中央雑誌の略名法による) 174 : 227-235, 2017.

(D) 学会発表

学会発表は、国内外の学会における特別講演・教育講演等、シンポジウム・ワークショップ・パネルディスカッション等の発表、及び国際学会における一般発表のみ記載してください。

記載の方法は前記に準じ、題名、発表学会名、開催地を発表年の順に記載してください。

I) 特別講演、教育講演等

- 1 Idai T. Customized induced pluripotent stem cell-derived red cell reagents. Plenary lecture. 59th Annual Meeting of Am Soc of Hematol. 2017 Dec 7; ○○○○○, USA (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略) .
- 2 医大太郎, 医大二郎, 京都花子. 教育講演. 世界に羽ばたく○○の育て方. 第 77 回日本○○学会, 2018, 福島.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 Idai T. Estimation of strength during fracture healing based on acoustic emission properties. Symposium; Bone trauma and fracture repair. 2nd World Congress of Biomechanics. 2005 Jul 14; ○○○○○, Netherlands (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略).



### Ⅲ) 国際学会における一般発表

- 1 Idai T. Prognostic impact of past history of other malignancies in prostate cancer. International Prostate Cancer Symposium. 2015 Oct 29-31; ○○○○○, USA (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略) .

## 履歴書・業績目録記入上の注意について

業績目録は、別紙様式2のとおり (A-a) 英文著書、(A-b) 和文著書、(B-a) 英文総説、(B-b) 和文総説、(C-a) 英文原著、(C-b) 和文原著及び、(D) 学会発表に分類し、それぞれ最近のものから年順に列挙し別葉としてください。

- (1) 履歴書の年号は元号と西暦を併記してください。
- (2) 代表的な論文20編の番号の前には○印を付けてください。  
なお、代表的な論文20編については、それぞれ簡潔に要旨、意義および被引用回数(Scopus)を記したもの(200字程度)を別に添付して下さい。
- (3) 共著、共同発表の場合は、本人の氏名を含め全員の氏名を原典に記載された順に記し、本人氏名にアンダーラインを引いてください。筆頭者とほぼ同等に貢献したことが記載されている論文においては、本人氏名の右肩に#印を、corresponding author の場合は本人氏名の右肩に\*印を付記してください。なお、筆頭者とほぼ同等に貢献した論文あるいはcorresponding author である論文においては、これらのことが記載されているページのコピーも提出して下さい(代表論文として提出する論文におきましては、重複して提出して頂く必要はありません)。  
例1) 医大太郎, 医大花子, 医大二郎. 論文名. 雑誌名  
1X: 99X-10XX, 20XX.  
例2) 医大花子, 医大太郎<sup>#</sup>, 医大二郎. 論文名. 雑誌名  
1X: 99X-10XX, 20XX.  
例3) 医大二郎, 医大太郎<sup>\*</sup>, 医大花子. 論文名. 雑誌名  
1X: 99X-10XX, 20XX.
- (4) 英文総説と英文原著論文については、各論文ごとにクラリベイト・アナリティクス社 Journal Citation Reports(JCR)2024年版の Impact Factor (2023 Journal Impact Factor として小数点以下桁数1桁で示されるもの)を記載してください。
- (5) 雑誌名が変更となっている場合はその記載の末尾に詳細を明記してください。
- (6) 掲載予定のものについては、それを証明する書類を添付してください。
- (7) 氏名を英語で表記する場合は、下記例のように統一して記載してください。(例) 医大太郎→「Idai T」
- (8) 学位申請論文については、題名の後に(学位論文)と記載してください。